

農業体験と組み合わせた学習プログラムが児童の農業観に与える影響
Effect of a learning program in combination with farming experience
on the agricultural view of children

○横川華枝¹ 溝口勝¹

YOKOKAWA Hanae MIZOGUCHI Masaru

1 はじめに

教育現場では体験重視が謳われる一方、学習との結びつきを意識していない体験プログラムへの批判が高まっている。農業体験は全国の約8割の小学校で実施されている¹⁾。農業体験がもたらす教育的効果については事例研究を中心に調査され、大きな感動を得る²⁾、道徳観・正義感が充実する³⁾などが実証されてきた。しかし、農業体験が児童の農業観に対してどのように影響しているかについて具体的に調査した例は少ない。また、農業体験に関連して実施する授業等の学習プログラムが児童に与える影響は考察されてこなかった。農業体験を単なる体験にしないためには、農業体験に合わせて実施する内容を含めてプログラムを構成する必要がある。そこで本研究では稲作体験を実施した東京都のX市内の小学校9校において児童の農業観を調査し、農業体験と組み合わせて実施する学習プログラムが児童の農業観にどのように影響するかを明らかにすることを試みた。なお、農業に対する理解やイメージを総合して農業観と称している。

2 方法

(1)調査対象

東京都X市内の公立小学校9校の第5学年教員(学校あたり一名)と第5学年児童計730名を対象として、2013年11月～12月にアンケート調査を実施した。第5学年児童全員が、同市



Fig. 1 稲作体験の様子
Farming experience on the field

内の田んぼにおいて田植え、草とり、稲刈り、脱穀の稲作体験(Fig.1)を行う。各小学校は、振り返り学習や調べ学習等の農業体験と関連した学習プログラムをそれぞれ実施する。

(2)調査方法

学習プログラムの内容：教員を対象としたアンケート調査によって、農業体験に関連して実施した学習プログラムの授業時間、行った時期、その内容を調査した。また農業体験とは関係なく実施された農業に関する学習プログラムの内容についても同様に調査した。

児童の農業観：農業の問題や農業の役割に対する意識、職業としての農業に対する意識、農業に対する好き嫌い等を調査した。また農業観に影響すると考えられる要因として、農作業手伝いの経験や身近に農家がいるかどうか等を調査した。

¹ 東京大学大学院農学生命科学研究科 Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The Univ. of Tokyo

キーワード：農業観, 農業体験, 総合的な学習, 小学校

(3)分析手法

小学校ごとに児童の農業観にあらわれている特徴をまとめ、小学校で実施した学習プログラムの内容と照らし合わせた。

3 結果

児童の農業観に関する調査項目のうち、農業従事者の高齢化問題に対する意識、職業としての農業に対する意識について、後述する特徴的な農業観があらわれたA小、B小の二校を取り上げた。二校は他の学校に比べて農業従事者の高齢化に対する問題意識が高い傾向を示した(Fig.2)。一方、職業としての農業に対するイメージをみると、A小では農業に対してポジティブなイメージをもつ児童が多かったのに対し、B小ではネガティブなイメージをもつ児童が多かった(Fig.3)。

A小、B小は農業体験に関連した学習プログラムをそれぞれ8時間、24時間を実施しており、これは他の学校に比べて多かった。またA小は体験をもとにして農家の思いを考えるとといった振り返り学習を実施したのに対して、B小は農業に関する調べ学習を主として実施した。

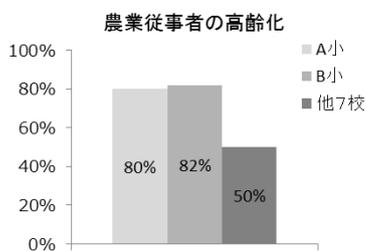


Fig. 2 農業従事者の高齢化問題を重要と答えた児童の割合 Ratio of children concern about aging problem of farmers

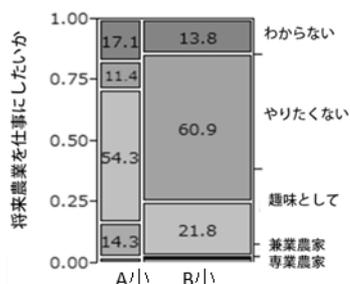


Fig. 3 職業としての農業に対するイメージ Image of agriculture as a career

4 考察

この結果から、概して農業体験と関連した学習プログラムを実施することには農業に対する問題意識を高める効果があるといえる。ただし、振り返り学習、調べ学習等の学習プログラムの内容によって、農業へのイメージがさまざまに形成されることがわかった。同じ地域に育ち、同様の農業体験を経験した児童は似た農業観を持つと考えられがちである。しかし本研究の結果では、児童の農業観は学習プログラムの実施とその内容次第で大きく異なっていた。調べ学習や振り返り学習はなにげなく実施されているが、これらは農業体験を通じて形成される農業観に大きく影響していると考えられる。

5 おわりに

農業体験に関連した学習プログラムを実施することは、体験と学習を結びつけるために不可欠である。それだけでなく、未来を担う次世代の子どもたちが農業に対する理解を深め、農業に対する見方や考え方を養うためにも重要であるといえる。今後は、どのような取り組みが農業に対する理解につながるのかをより具体的に実証する必要がある。また、郊外や農村地域においてはどのような結果が得られるか、同様の調査を行うことが必要である。

謝辞

アンケート調査にあたって、調査票の表現や体裁の修正、アンケートの実施においてX市教育委員会のご協力をいただきました。ここに謝意を表します。

参考文献

- 1) 全国農村青少年教育振興会，“農業体験学習に関するアンケート結果等,” 2010.
- 2) 鈴木源太郎，農山漁村宿泊体験で子どもが変わる地域が変わる，農林統計協会，2013.
- 3) 生涯学習審議会，“生活体験・自然体験が日本の子どもの心をはぐくむ,” 1999.